

件名索引

凡 例

1. 見出し項目の配列：各項目を頭文字の発音により五十音順に分け、その中では電話帳方式で配列してあります。欧文の項目についてはA, B, C順に配列してあります。
2. 論文の配列：見出し項目をゴシックとしその項目に該当する論文名を掲載時期の早いものから順次配列してあります。
3. 同義語：同義語のうちの代表的なものをとり出来るだけその中にまとめました。しかし、同義語についてのまとめは完璧ではありませんので、付属 CD-ROM の検索機能のご利用をお勧めします。同義語・類義語について、他の語で引いても所在がわかるように、案内記号(☞)を用いてあります。具体例を以下に列記しますので参考にしてください。

OA ☞ 変形性関節(症)

ガングリオン ☞ ganglion

骨粗鬆(症) ☞ オステオポロシス, osteoporosis

後縦靱帯骨化(症) ☞ OPLL

股関節全置換(術) ☞ THR

脊柱管狭窄(症) ☞ 脊椎管狭窄

前十字靱帯, 後十字靱帯 ☞ ACL, PCL

側弯(症) ☞ scoliosis

脳性まひ, CP ☞ 脳性麻痺

ヘルニア ☞ 椎間板ヘルニア

慢性関節リウマチ ☞ RA, リウマチ

また、整形外科領域で頻出する用語である「頸椎」「痙攣」「脛骨」等について、創刊から第28巻(1993年)までは前出のように正字体を用いていましたが、第29巻(1994年)よりは、日本整形外科学会編「整形外科用語集」に併せて、「頸椎」「痙攣」「脛骨」等々を使用しております。従って、件名索引では両方の「見出し語」をご参照ください。

4. 各論文は題名、著者名(筆頭者1名、座談会は司会者名)、巻数、号数、頁数、欄名(論文の種類)の順に表示しています。
5. なお、本号付属の CD-ROM では事項(複合可能)検索により、その事項に関連した全ての論文タイトルが掲載順に一覧で参照できます。